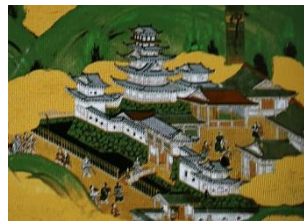


“伏見探訪”

日時：令和5年11月30日（木）

今回は出席者26名で9時50分にJR桃山駅改札でた前の広いところに集合し、「伏見文化・観光の語り部」の伊藤氏、江崎氏、箕輪氏、大浦氏の4名で、伏見桃山地区を4班分かれて探訪した。JR桃山駅周辺→御香宮→桃稜団地→伏見奉行所跡→会津藩邸跡（伏見御堂）→酒所→宇治川派流→伏見港→角倉黄了以先生/顕彰碑→三栖閘門→流域ミュージアム→近鉄鉄橋→京街道→電気鉄道発祥の地碑→伏見長州藩邸跡→寺田屋→黄桜記念館と距離にしては約6km位だったが、あまりにも探訪する場所が多すぎて付いていくのがやっとであった。12時半に解散した。

- ① JR桃山駅：1912年明治天皇崩御、伏見桃山が陵墓地になり、桃山駅は大喪列車を迎えるために拡張。昭和になり、昭和天皇即位大礼のために更に拡張された。1035年駅舎が改装され現在に至る。
- ② 伏見城：1592年豊臣秀吉の隠居後の住まいとして伏見指月に建設（指月伏見城）。1598年秀吉が城内で没し、秀頼が伏見城から大阪城に移して政務を行った。秀頼の替わって徳川家康が入城して政務を執った。1602年に焼失した伏見城が再建。1619年に廃城とされた。



- ③ 御香宮（ごこうのみや）：神功皇后を主祭神として夫仲哀天皇、子の応神天応他6神を祀る。神功皇后の神話伝承により、安産の神として信仰を集める。862年に境内より良い香りの水が湧き出し、清和天皇に「御香水」と名を賜り、名水百選に選定されている。徳川家康と深い繋がりがあり、境内には「東照宮神社」がある。徳川家康462日（1603～1605年）、秀忠340日（1605～1623年）、家光41日（1623～1651年）は伏見桃山で征夷大將軍として政務を執り行った。
- ④ 桃稜団地：伏見は平安時代には鳥羽と並ぶ貴族の別荘地帯であった。豊臣秀吉が伏見城を築いて以降繁栄した。1624年に伏見城跡に伏見奉行所として建設された場所が現在の桃稜団地である。明治時代以降は陸軍の工兵隊の基地に、戦後は米軍に接収された。現在は市営住宅が建設されている。
- ⑤ 会津藩駐屯地跡（伏見御堂）：伏見御堂は桃山時代の慶長年間に東本願寺の第12代法主・教如が建立した
- ⑥ 宇治川派流：宇治川に注ぎ、淀川に通じる京都と大阪を結ぶ川。

- ・鉄道が発達するまで水運が盛んに利用された。
- ・十石舟や三十石船で米や酒などの物質の運搬、旅客輸送に使われた。・数十軒の船宿が立ち、大変賑わった。
- ・伏見であい橋は江戸時代、濠川（旧伏見城外堀）と宇治川派流で隔てられていた船番所前、京橋南浜、京橋島北浜の三つの浜に平成6年に架けられた桜の名所で、青春映画「君の隣をたべたい」のロケ地であった。



⑦ 酒街道：月桂冠や黄桜など酒倉が多数点在する。

・銘柄の由来：月桂冠、英勲、神聖、名誉冠、日出盛、など軍隊好みの名前が多い。陸軍 16 師団が伏見に置かれたため、軍隊への日本酒の納品が多かった。

・伏見の水（伏流水）：1 升の酒に 8 升の水が酒造りには必要である。中硬水（カリウム、カルシウムなどを含む。）北の京都盆地や東の桃山丘陵から流れ出てくる。

・奈良電鉄：地下線路敷設に地元酒元から拒否され、高架にした。

⑧ 顕彰碑：徳をあらわすということは一番むつかしく、功績をあげるとはたやすくはできないと、角倉了以先生(1614 年その子素庵と約 11km の運河高瀬川（京都一伏見）を完成した）はまさしくそうゆう功績をあげた人であった。

⑨ 流域ミュージアム案内所：琵琶湖・淀川そのものを「流域ミュージアム」と見立て、水と人との繋がりを取り戻すためのさまざまな取り組みを紹介する案内所。

⑩ 三栖閘門：水差のある場所に二つの水門を設け、間に挟まれた閘室の水位を緩やかに上下変動させて、船舶が移動出来るようにする設備。淀川改修工事に併せて建設された。昭和 39 年に役目を終えた（選奨土木遺産）。



⑪ 瀬川橋梁（よどがわきょうりょう）：伏見区の宇治川に架かる鉄道用トラス橋。奈良電気鉄道が自社線（現在は近畿日本鉄道京都線）の開業にあたり、架橋を予定していた地区周辺に帝国陸軍の演習場（渡河川練習場）、その北側に工兵大隊の工営が設置されていた。帝国軍隊の要請により、本橋梁は無橋脚、1 経間での渡河に適した長大な曲線プラット格トラス桁として架設された。

⑫ 京街道：江戸時代、伏見と大坂を結んだ街道は大坂を終点とする東海道五十七次の一部で、京街道と呼ばれた。徳川家康が整備、京都までの五十三次+4 次（守口宿、枚方宿、淀宿、伏見宿）。伏見では町の東西の肥後橋西詰から宇治川派流沿いに形成された堤防集落三栖町を進み淀に至る（本陣 2 軒、脇本陣 2 軒、枚籠 39 軒）

⑬ 旧京都電燈伏見第 2 火力発電所（(株)タモリ製作所伏見工場）：京都電燈(株)は京都鉄道（現・山陰線）の創設でも知られる田中源太郎を初代社長として、1888 年に創設された日本で 4 番目の電灯会社である。市中心部への灯火用電力の供給を目的に設立、1943 年に軍需工場に、20 年近く廃墟になっていた旧火力発電所を森田製作所（現在は(株)モリタ製作所）が買い入れた。

⑭ 寺田屋騒動址：1862 年 4 月 23 日、薩摩藩の船宿であった寺田屋伊助方に有馬新七ら 30 余名の急進派（勤王倒幕）志士が集まったところへ島津久光は藩士奈良原ら 8 名を派遣し、新七らの計画を断念させるため説得したが失敗し、新七ら 7 名が斬られ、二人重傷を負い、翌日切腹。

以上

